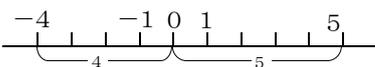
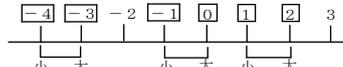
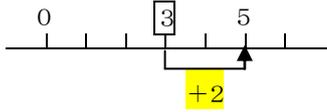
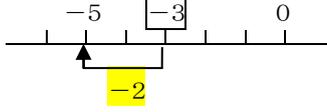
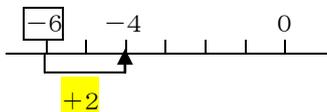
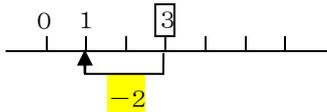
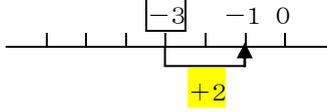
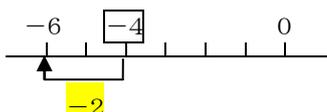


確認シート 1	年 組 番 氏 名
---------	-----------

学習したことが身に付いているか、確かめよう。

1年 正の数・負の数

【解答】

正の数・負の数の表し方	○ 0より大きい数…正の数、0より小さい数…負の数 負の数は、「-」の符号を使って表す。 ・ 0℃より6℃低い温度を <input type="text"/> ℃と表す。	- 6
絶対値の意味	○ 数直線上で、0からある数までの距離をその数の絶対値という。 ・ 5の絶対値は5、-4の絶対値は4  ※ 絶対値は符号(+、-)を除く数の部分。	/
数の大小の求め方	○ 数直線上で表される数は右ほど大きい。 $-4 < -3$ 、 $-1 < 0$ 、 $1 < 2$ 	/
正の数・負の数のたし算の仕方	・ 正の数と正の数 $3 + 2 = 5$ 	- 5
・ 負の数と負の数 $-3 + (-2) = -3 - 2 =$ <input type="text"/>		
・ 負の数と正の数 $-6 + (+2) = -6 + 2 =$ <input type="text"/>		
正の数・負の数の引き算の仕方	・ 正の数と正の数 $3 - 2 = 1$ 	- 1
・ 負の数と負の数 $-3 - (-2) = -3 + 2 =$ <input type="text"/>		
・ 負の数と正の数 $-4 - (+2) = -4 - 2 =$ <input type="text"/>		
正の数・負の数のかけ算とわり算の仕方	○ 絶対値をそのまま計算する。 式中の-が奇数個のときだけ、答えに-を付ける。 ・ $(-8) \times (+2) = -16$	/

<p>文字式の表し方</p>	<p>○ かけ算の記号 (×) は省く。 $a \times b = ab$ ○ 文字と数のかけ算は数を文字の前に。 $a \times 2 = 2a$ ○ 同じ文字のかけ算は指数を使う。 $x \times x \times x = x^3$ ○ わり算の記号 (÷) は使わず、分数の形で。 $a \div 2 = \frac{a}{2}$ ・ $a \times (-4) = \square$、$b \div 7 = \square$ ・ 1辺が a cm の正方形のまわりの長さは \square cm、面積は \square cm² である。</p>	<p>$-4a$、$\frac{b}{7}$ $4a$ a^2</p>
<p>式の値の求め方</p>	<p>○ $x = -3$ のときの $-2x + 1$ の式の値を求める手順 ① $-2x + 1$ を × や ÷ の記号を使った式に表す… $-2 \times x + 1$ ② x に (-3) を代入 $-2 \times (-3) + 1 = \square$ ※ <u>どうしを</u>かけると、符号が \square になる。</p>	<p>7 +</p>
<p>項と係数の意味</p>	<p>○ $3x + 5y - 4$ の項は、$3x$ $+ 5y$ $- 4$ で、$3x$、$5y$、-4 文字をふくむ項の文字にかけられた数を係数という。$3x$ の場合 x の係数は \square</p>	<p>3</p>
<p>文字式のかけ算とわり算の仕方</p>	<p>○ 順序を入れかえて、数どうしをかける。 ・ $(-2x) \times 3 = -2 \times x \times 3 = -2 \times \square \times x = -6x$ ○ () をはずすときは、() の各項に数をかける。 ・ $(4x - 3) \times 2 = 4x \times \square - 3 \times 2 = 8x - 6$ ○ わり算は、逆数のかけ算になおして計算する。 ・ $4x \div 6 = 4x \times \frac{\square}{\square} = \frac{4}{6}x = \square$</p>	<p>3 2 $\frac{1}{6}$、$\frac{2}{3}x$</p>
<p>-() のはずし方</p>	<p>○ 各項の符号が変わることに注意する。 ・ $4x - (7x - 2) = 4x - (+7x - 2) = 4x - 7x + 2 = -3x + \square$</p>	<p>+ 2</p>
<p>文字式のたし算の仕方</p>	<p>○ 文字が同じ項どうし、数だけの項どうしに分けて計算する。 ・ $5x + 4 + 3x - 2 = 5x + 3x + 4 - 2 = \square x + \square$</p>	<p>8、2</p>
<p>等しい関係を表す式</p>	<p>○ 2つの数量の等しい関係を表した式を \square という。 等号 (=) の左側の式を \square、右側の式を右辺という。 ・ 「1個 a 円のプリン5個の代金は b 円である。」を式に表すと、\square になる。</p>	<p>等式 左辺 $5a = b$</p>

